

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公表番号】特表2002-506625(P2002-506625A)

【公表日】平成14年3月5日(2002.3.5)

【出願番号】特願2000-536731(P2000-536731)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	31/711	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	1/16	(2006.01)
A 61 P	1/18	(2006.01)
A 61 P	7/00	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	13/12	(2006.01)
A 61 P	17/00	(2006.01)
A 61 P	19/00	(2006.01)
A 61 P	25/00	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	31/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	37/02	(2006.01)
A 61 P	37/08	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	14/705	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 61 K	31/711	
A 61 K	48/00	
A 61 P	1/16	
A 61 P	1/18	
A 61 P	7/00	
A 61 P	9/00	
A 61 P	13/12	
A 61 P	17/00	
A 61 P	19/00	
A 61 P	25/00	
A 61 P	29/00	
A 61 P	31/00	
A 61 P	35/00	
A 61 P	37/02	
A 61 P	37/08	
A 61 P	43/00	1 0 5
A 61 P	43/00	1 0 7

C 0 7 K	14/705
C 1 2 N	1/15
C 1 2 N	1/19
C 1 2 N	1/21
A 6 1 K	37/02
C 1 2 N	5/00
	A

## 【手続補正書】

【提出日】平成18年2月16日(2006.2.16)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 単離された核酸分子であって、以下：

(a) 配列番号1のポリヌクレオチドフラグメント、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるcDNA配列のポリヌクレオチドフラグメント；

(b) 配列番号2のポリペプチドフラグメントをコードするポリヌクレオチド、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるcDNA配列；

(c) 配列番号2のポリペプチドドメインをコードするポリヌクオチド、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるcDNA配列；

(d) 配列番号2のポリペプチドエピトープをコードするポリヌクオチド、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるcDNA配列；

(e) 生物学的活性を有する、配列番号2のポリペプチドをコードするポリヌクオチド、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるcDNA配列；

(f) 配列番号1の改变体である、ポリヌクレオチド；

(g) 配列番号1の対立遺伝子改变体である、ポリヌクレオチド；

(h) 配列番号2の種ホモログをコードする、ポリヌクレオチド；

(i) (a)～(h)に特定されたポリヌクレオチドのいずれか1つに対してストリンジメントな条件下でハイブリダイズし得るポリヌクレオチドであって、ここで、該ポリヌクレオチドは、A残基のみまたはT残基のみのヌクレオチド配列を有する核酸分子に対してストリンジメントな条件下でハイブリダイズしない、ポリヌクレオチド、からなる群より選択される配列に少なくとも95%同一であるヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドを含有する、単離された核酸分子。

【請求項2】 前記ポリヌクレオチドフラグメントが成熟形態または分泌型タンパク質をコードするヌクレオチド配列を含む、請求項1に記載の単離された核酸分子。

【請求項3】 前記ポリヌクレオチドフラグメントが、配列番号2として同定された配列をコードするヌクレオチド配列、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるコード配列を含む、請求項1に記載の単離された核酸分子。

【請求項4】 前記ポリヌクレオチドフラグメントが、配列番号1の全ヌクレオチド配列、またはATCC受託番号209641または209691に含まれるcDNA配列を含む、請求項1に記載の単離された核酸分子。

【請求項5】 前記ヌクレオチド配列が、C末端またはN末端のいずれかから連続するヌクレオチドの欠失を含む、請求項2に記載の単離された核酸分子。

【請求項6】 前記ヌクレオチド配列が、C末端またはN末端のいずれかから連続するヌクレオチドの欠失を含む、請求項3に記載の単離された核酸分子。

【請求項7】 請求項1に記載の単離された核酸分子を含有する、組換えベクター。

【請求項8】 請求項1に記載の単離された核酸分子を含有する組換え宿主細胞を作製する、方法。

【請求項 9】 請求項8に記載の方法によって產生された、組換え宿主細胞。

【請求項 10】 ベクター配列を含有する、請求項 9 に記載の組換え宿主細胞。

【請求項 11】 単離されたポリペプチドであって、以下：

( a ) 配列番号 2 のポリペプチドフラグメント、または ATCC 受託番号 209641 または 209691 に含まれるコードされる配列；

( b ) 生物学的活性を有する、配列番号 2 のポリペプチドフラグメント、または ATCC 受託番号 209641 または 209691 に含まれるコードされる配列；

( c ) 配列番号 2 のポリペプチドドメイン、または ATCC 受託番号 209641 または 209691 に含まれるコードされる配列；

( d ) 配列番号 2 のポリペプチドエピトープ、または ATCC 受託番号 209641 または 209691 に含まれるコードされる配列；

( e ) 分泌型タンパク質の成熟形態；

( f ) 全長の分泌型タンパク質；

( g ) 配列番号 2 の改変体；

( h ) 配列番号 2 の対立遺伝子改変体；または

( i ) 配列番号 2 の種本モログ、

からなる群より選択される配列に少なくとも 95% 同一であるアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチド。

【請求項 12】 前記成熟形態または前記全長の分泌型タンパク質が、C 末端または N 末端のいずれかから連続するアミノ酸の欠失を含む、請求項 11 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 13】 請求項 11 に記載の単離されたポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項 14】 請求項 11 に記載の単離されたポリペプチドを発現する、組換え宿主細胞。

【請求項 15】 単離されたポリペプチドを作製する方法であって、以下：

( a ) 該ポリペプチドが発現されるような条件下で、請求項 14 に記載の組換え宿主細胞を培養する工程；および

( b ) 該ポリペプチドを回収する工程、  
を包含する、方法。

【請求項 16】 請求項 15 に記載の方法によって產生される、ポリペプチド。

【請求項 17】 請求項 11 に記載のポリペプチドの治療的有効量を含む、医学的状態を予防、処置、または緩和するための、組成物。

【請求項 18】 請求項 1 に記載のポリヌクレオチドの治療的有効量を含む、医学的状態を予防、処置、または緩和するための、組成物。

【請求項 19】 分泌型タンパク質の発現または活性に関連する被験体における病理学的状態、またはその病理学的状態に対する感受性を診断する方法であって、以下：

( a ) 請求項 1 に記載のポリヌクレオチド中の変異の存在または非存在を決定する工程；

( b ) 該変異の存在または非存在に基づいて、病理学的状態または病理学的状態に対する感受性を診断する工程、  
を包含する、方法。

【請求項 20】 分泌型タンパク質の発現または活性に関連する被験体における病理学的状態、またはそれらの病理学的状態に対する感受性を診断する方法であって、以下：

( a ) 生物学的サンプルにおいて請求項 11 に記載のポリペプチドの存在またはその発現量を決定する工程；

( b ) 該ポリペプチドの存在またはその発現量に基づいて、病理学的状態または病理学的状態に対する感受性を診断する工程、  
を包含する、方法。

【請求項 21】 請求項 11 に記載のポリペプチドに対する結合パートナーを同定す

るための方法であって、以下：

- (a) 結合パートナーと請求項11に記載のポリペプチドとを接触させる工程；および
- (b) 該結合パートナーが該ポリペプチドの活性にもたらすかどうかを決定する工程、を包含する、方法。

【請求項22】 配列番号2のcDNA配列に対応する、遺伝子。

【請求項23】 生物学的アッセイにおいて活性を同定する方法であって、以下：

- (a) 細胞中で配列番号1を発現させる工程；
- (b) 上清を単離する工程；
- (c) 生物学的アッセイにおいて活性を決定する工程；および
- (d) 該活性を有する該上清中のタンパク質を同定する工程、を包含する、方法。

【請求項24】 請求項23に記載の方法によって產生された、産物。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0024】

BLAST分析を使用して、配列番号2は、サイトカインレセプターファミリーのメンバーのホモログであることが見出された。詳細には、配列番号2は、以下の保存されたドメインを含有する、インターロイキン-2レセプターについてのBos Taurus mRNA(登録番号1532088)(図2)(配列番号3)の翻訳産物に対して相同であるドメインを含み、これは以下の保存されたドメインを含む：(a)およそアミノ酸226-260に位置する推定の膜貫通ドメイン；(b)推定のWXWS(配列番号30)、または[STGL]-x-W-[SG]-x-W-S(配列番号18)、およそアミノ酸198-204に位置するドメイン(T-x-P-S-x-W-S)(配列番号19)、しかし、完全には適合しない；および(c)推定のJakk Box(モチーフW(P,E)X(V,I)P(N,S,D)P(配列番号20)を有する)、およそアミノ酸261-268に位置するドメイン(I-P-X-V-P-D-P)(配列番号21)、しかし、完全には適合しない。CRCGCLのこれらのポリペプチドフラグメントが、本発明において特に意図される。インターロイキン-2レセプター(登録番号1532088)がサイトカインレセプターとして重要である。

さらに、コードされたポリペプチドは、およそアミノ酸1-22に位置する推定リーダー配列を有する。(図1A-1Bを参照のこと。)また、図1A-1Bに示すように、CRCGCLの分泌型形態の1つの実施態様は、およそアミノ酸23-371、アミノ酸23-225、またはアミノ酸1-231を含む。CRCGCLのこれらのポリペプチドフラグメントが本発明において特に意図される。